訓練 弟子たち 修行

セッション 22: 弟子制度は関係性(10b)

ロン・ライブリー M.Div., M.A. による提供 – BiblicalMentoring.org(研究)

ステップ1:開会の祈り

ステップ2: 各人がその記憶の節を引用します: ヴァース: **ゼカリヤ書8章16-17節**
16 あなたがたが行うべきことはこうである。互いに真実を語り合いなさい。
あなたがたの門の中で真実な裁きを下し、平和をもたらす。
17 心の中で互いに敵対する悪を企ててはならない。
偽りの誓いを愛してはならない。これらすべてのことを憎む、と主は宣言される。」

ステップ3: *聖書の章の全部または一部を読み、議論してください* - **ゼカリヤ書 8章**
リンク: **https://www.biblegateway.com/passage/?search=Zechariah%208&version=ESV**

ステップ4: 個人応募やグループディスカッションに関する質問:

一. 温かさを扱った後、フィリップスは弟子との健全な関係に必要な4つの資質、すなわち忠誠心、公平さ、成熟さ、可用性についても取り上げます。

二. 忠誠心:著者は、忠誠心とは他者への一貫したコミットメントであり、弟子(訓練生)は決してあなたの忠誠心を疑ってはならないと述べています。

三. 公平さ:公平とは、それぞれの人が神から異なる賜物を与えられつつも、キリストのような人格を目指すという目的を持つと見ることです。

四. 成熟:彼は、成熟とは、二人にとって神との揺るぎない忠実な歩みだと言います。

五. 可用性:弟子のためにいつでも対応できることは非常に重要です。フィリップスは、あなたが神に従うという神の命令に従うとき、あなたのすべての時間は神を最もよく讃えるために使われるための時間になったと言います。

ステップ5: *本書の内容を読み、議論してください:*
著者キース・フィリップスによる第10b章:

忠誠心

忠誠とは、相手への一貫したコミットメントです。それは、どんな時も彼のそばに立つことを意味します。危機を共に乗り越えるほど関係を固めるものはほとんどありません。「誰かを愛するなら、どんな代償を払っても彼に忠誠を誓います。あなたは常に彼を信じ、常に彼に最善を期待し、常にその人を守るために自分の立場を貫く」(コリント人への第一の手紙13章7節 LB)。弟子は決してあなたの忠誠心を疑ってはなりません。もし彼があなたを裏切ったとしても、彼への信頼の欠如を表明したり、関係を断ち切る意思をほのめかしたりしてはいけません。失望は、その人を築く手助けをしてくれるリーダーたちだけに分かち合いましょう。エペソ人への手紙4章29節には、「不健全な言葉は口から出るな。ただし、その時の必要に応じた啓発に良い言葉だけを出せ」と教える。心から人を信じ、全力で擁護し、後になって自分が間違っていたと気づいたことも何度かありました。しかし、忠誠を誓ったことを後悔したことは一度もありません。死んだ人間は利用されたり虐待されたりしたと感じません。弟子に忠誠を誓うことで失うものは何もありません。

公平性

公平さには偏りのない立場が必要です。「神に偏りはない」(ローマ2:11)、また神の民に対して偏りはあってはなりません(ヤコブ2:1)。あなたの弟子は、あなたが公平であることを知っなければなりません。私は、アメリカ全土の都心部のミニストリーを率いる9人の方々に投資するという特権を持っています。彼らは多様な背景、異なる知的能力、個性的で、さまざまな可能性を持っています。私は各ディレクターをそのまま受け入れ、その特別な才能やスキルを伸ばすよう、熱心に努めています。私は、自分の使いやすさを妨げる性格的な好みを克服し、ある弟子の成長を別の弟子と比べて動機づけないよう、神に助けを求めました。私たち全員が目指す唯一の統一基準は、キリストのような人格です。聖書理解、聖書の記憶、ミニストリーの実践において平等を求めたり、望んだりすることは不公平です。一人ひとりは神ご自身の唯一無二の創造物であり、それに見合った扱いを受けなければなりません。もしあなたが弟子を、あらかじめ決められた硬直的な計画で導こうとすると、それは破滅的な結果を招くでしょう。彼を特定の望ましい型にはめようとすると、失望することになるでしょう。公平さとは、キリストの唯一無二性を尊重し、その多様性を楽しむことを求めます。もし弟子が体の中の別のメンバーを非難した場合、あなたがそれぞれの人に対して忠誠と公正であることを示してください。二人と、できれば一緒に話し合うまでは、賛成も反対もしないでください。"...「一言ですべてが台無しになることもある」(箴言13章3節 LB)。それぞれの意見に耳を傾けてください。祈りましょう。それから神の言葉の中、そして指導者を通して答えを求めなさい。弟子が自分の目的と目標に再び集中できるよう助けてください。彼が赦しを求め、与えるように訓練してください。神の栄光のために、身体の一致へのコミットメントを共に改めて確認してください。もし弟子がこれがあなたの方針だと知れば、ゼカリヤ書8章16節(LB)に従うでしょう:「...真実を語れ。公平であれ。すべての人と平和に生きなさい。」

成熟期

成熟とは、神との着実で忠実な歩みです。イエスはこう述べました。「...私はいつも神を喜ばせることを行います」(ヨハネ8:29)。パウロは言いました。「あなたがたは証人であり、神もまたそうです。私たちが信者よ、あなたがたたちに対してどれほど敬虔で正直で非の打ち赦なく振る舞ったか」(テサロニケ人への第一の手紙2章10節)。あなたが弟子の人生のあらゆる分野で全体を生み出そうとするなら、常に成熟していなければなりません。彼はあなたの模範を通して、奉仕者としての姿勢、感受性、そして正しい責任感を学ぶでしょう。彼はあなたの行動を真似し、あなたの成熟を尊重します。逆もまた真実です。あなたの弟子は、あなたが教えていることを生きているかどうかを見守ります。あなたがそれに気づいていないときでさえ、彼はあなたを見守るでしょう。皮肉な発言、疑わしい冗談、指導者への信頼の欠如、嫉妬などが観察され、再現されます。成熟は弟子関係の形成を妨げることは決してありません。マージがスタッフに新しく入った頃、彼女はティーンエイジャーたちと親しい友情を築きたがっていて、彼女たちがやることほとんどすべてをやっていました。彼女の熱意は称賛に値し、女の子たちから好かれました。しかし数か月の間に、誰かが深刻な問題を抱えたり重要な決断の助言を求めたりすると、彼女たちはマージではなく女性担当ディレクターに話すようになりました。マージはただの「女の子の一人」になってしまい、彼女たちの尊敬を得ていませんでした。未熟さは受け入れられるために払うにはあまりにも大きな代償です。

入手可能性

結婚していなければ、弟子は身体の中であなたの最優先事項です。結婚しているなら、彼は家族に次ぐ存在です。パウロはトロアスで福音を説くための開かれた扉を見つけましたが、テトを探しに行くために去りました(コリント人への第二の手紙2章12章13節)。テタスはトロアス全体よりもパウロにとって重要でした。弟子を最優先に置く粘り強い決意が必要です。あなたと弟子は質の高い関係を持つために最大限のアクセスが必要です。お互いを知るのが難しい場合や弟子が不安を感じている場合は、週に3時間以上の正式なミーティングが必要になるかもしれません。一回の会合は訓練、聖書研究、責任追及のために確保すべきですが、交わりや分かち合い、共に何かを行うための時間も設けられます。弟子の多くの質問や強い学びたいという思いが多くの時間を要求しても、彼に投資し、挑戦できる場面を持ちましょう。彼の熱意を抑え込まないでください。適応や危機の時期には特に敏感になってください。もし彼が不純な思考や「存在す

る」代わりに「行動する」ことなどの依存症に悩んでいるなら、昼夜問わず彼を助けてください。

キリストの命令に従い、自分のスケジュールを決める権利を放棄したのです。"...あなたは自分自身のものではありません。あなたは代価をもって買われました...」(コリント人への第一の手紙6:19,20)あなたのすべての時間は、神を最もよく讃えるために使われるための時間となりました。もしあなたが弟子を必要としているときに忙しすぎるなら、それはあなたが忙しすぎるのです。私が心から愛するある弟子が、午前2時に電話をかけてきて、かすれた声ですぐに会えるかどうか尋ねました。ためらうことなく、私は約束の場所に駆けつけ、数時間祈りと助言に費やしました。それは私たちの愛とコミットメントを強化するために私がこれまでにした最も賢明な投資でした。彼は私が彼を最優先に考えていること、そして彼の世界が崩れ落ちるとき、私がその場にいて断片を組み立て直す手助けをしていることを知っていました。このような瞬間は、健全な関係を規律する原則を弟子の人生に消えないインクで刻み込んでいます。最近ウィチタへの旅行では、スタッフ研修、講演、プライベートミーティングでスケジュールがぎっしり詰まっていました。ディレクターのアル・エワートと私は、彼の長いミニストリーに関する質問リストについて話し合いました。最終会議は予想より長く続き、そのせいで私は飛行機に乗り遅れてしまいました。次の飛行機が4時間後に出発しなかったので、私は疲れた気持ちでコーヒーを飲みに行こうと提案しました。席に着くと、私は自分が抱えているプレッシャーや締め切り、緊急事態について話しました。アルの励ましは、灼熱の夏の日に吹く涼しい風のようでした。やがて私は自分の夢や目標について振り返り始めました――神が私たち二人の予想以上の偉大なことを成し遂げるのだと信じていました。アルは私のビジョンを肯定し、神が与えてくださった励ましの言葉をいくつか付け加えてくれました。時間はあっという間に過ぎていきました。飛行機に乗り込むと、自分がどれほどリフレッシュしたかほとんど信じられませんでした。数日後、アルは電話で、彼にとってコーヒーショップでの時間はウィチタ滞在中のハイライトだったと話してくれました――そしてそれは間違いなく私自身のものでした。一人で長距離ドライブに出かけたり、空港で一人で座ったりして貴重な時間を無駄にしないでください。弟子をあなたと一緒に招きましょう。これらは教え、交わり、そして一貫した影響力を持つ貴重な機会です。イエスは「すべての宣伝を避けるようにして、弟子たちともっと時間を過ごし、彼らに教えを授けようとしました...」(マルコによる福音書9章30節LB)彼は決して忙しすぎず、疲れすぎて彼らの必要に応えることもなかった。

ステップ6: *個人的な祈りの願いを共有し、それぞれが相手の願いのために祈ります。*

pp. 104-109

出典:キース・フィリップス博士著『The Making of a Disciple』。フレミング・H・レヴェル社出版、1981年。ISBN 0-8007-1181-5。ロバート・E・コールマンによる序文。内容(学習問題を除く)は本書から改訂なしで引用しています。

改訂20261121